

背景と目的

- 国土交通省が 2022年 6 月に決定した「国土交通省インフラシステム海外展開行動計画（令和 5 年版）」においては、「物理的連結性の向上に資するインフラ整備を推進するとともに、整備に併せてその後の運営・維持管理（O&M: Operation & Maintenance）へ参画する等により相手国に継続的に関与することが必要である」とある。
- 以下に示す各国際機関及び各国政府のWebページや文書から、O&Mという用語がどのような分野において使用されているか整理することを目的とする。

結果

調査対象区分	選定した調査対象
国際機関	ADB、ASEAN、EC、IFC、IMF、OECD、国連、世界銀行
欧米諸国	米国、ドイツ、フランス、英国、カナダ、
アジア諸国	韓国、中国、フィリピン、バングラデシュ、インド

<傾向>

- 次の順で、O&Mという用語が多く使われていることが確認できた。
 - 国際機関：水資源・河川分野、エネルギー・電力分野、インフラ一般分野の順
 - 欧米諸国：エネルギー・電力分野、水資源・河川分野、インフラ一般分野の順
 - アジア諸国：都市・交通インフラ分野、エネルギー・電力分野、水資源・河川分野の順

<結論>

- それぞれの国際機関や各国政府によって、O&Mの関心分野が異なっている可能性があることが確認できた。